



エフェクト

Manual Version 1.0

エフェクト

インサートエフェクトやセンド/リターンエフェクトを使って、パッド、キーグループ、トラック、マスター出力にさま ざまなエフェクトをかけることができます。この章ではエフェクトがどのように機能するのかを説明します。

エフェクトのリスト(簡易説明付き)とそれらのパラメータについては、「付録>エフェクトとパラメータ」を参照してく ださい。

概要

トラック内で各パッドまたはキーグループに最大 4 つのインサートエフェクトを適用できます。詳細については、「イ ンサートエフェクト > パッドまたはインサートエフェクト > キーグループ」を参照してください。

トラック全体に最大 4 つのインサート・エフェクトを適用することもできます。これについて詳しくは、「インサート エフェクト > トラック」を参照してください。

さらに、各パッド、キーグループ、トラックはそれぞれ最大 4 つのリターン・チャンネルにセンドを送ることができ、 それぞれ最大 4 つのインサート・エフェクトを持つことができます。それぞれのオーディオは各リターンのインサート エフェクトを通してルーティングされ、処理されたオーディオはマスター出力に送られます。詳細については、「セン ド/リターンエフェクト」を参照してください。

また、各マスター出力に最大 4 つのインサート・エフェクトを適用することができます(ステレオペアのチャンネル: 出力 1/2 または出力 3/4)。詳細については、「インサートエフェクト>マスター」を参照してください。

エフェクトを操作可能なモードは他に3つあります:

- サンプラーは、録音時にオーディオに適用されるインサート・エフェクトを最大4つ使用できます。この場合エフェクトを後でサウンドから取り除くことはできません。 詳細については、「モード > サンプラー」を参照してください。
- 同様に、ルーパーも最大4つのインサート・エフェクトを使用することができます。これは録音時にオーディオ に適用されます。したがってエフェクトを後でサウンドから取り除くことはできません。詳細については、「モ ード > ルーパー」を参照してください。
- XYFX モードでは、エフェクトはそのトラックのシングルインサートエフェクトのように機能します。XYFX は、 このモードを使用する前にトラックに読み込むインサート・エフェクトの名前です。詳細については、「 モー ド > XYFX モード」を参照してください。

エフェクトを表示、読み込み、編集、消去するには Inserts フィールドの下部をタップします。これは通常チャンネルストリップ(レベルス ライダーとパンノブの隣)に表示されます。



読み込まれたエフェクトを表示すると右のような画面が現れます。 エフェクトを選択するには、各インサートスロットのフィールドを使 用します。その際下記の画面が表示されます。

読み込まれたエフェクトのパラメーターを編集するには、インサ ートスロットの隣にある鉛筆アイコンをタップします。

インサートスロットに読み込まれたエフェクトをを削除するには、 横にあるゴミ箱のアイコンをタップします。

エフェクトスロットを有効/無効にするには、その横にあるオン/ オフボタンをタップします。

4 つのエフェクト・スロットをすべて無効にするには、右上にある All On / All Off ボタンをタップします。 もう一度タップすると、以 前に使っていたエフェクトが再び起動します。

エフェクトを選択するとき、右のような画面が現れます。

リストを移動するには、上下にスワイプします。データダイヤルまた は - / +ボタンも使用できます。

タイプやメーカーでエフェクトをソートしたりそのソートの結果を 解除するには、左下にある Type または Manufacturer をタップしま す。

エフェクトを読み込むには、ダブルタップします。Select または データダイヤルをタップしても読み込みます。

キャンセルするには、Close またはリストの外をタップします。

エフェクトを編集する時、右のような画面が現れます。

パラメータを調整するには、そのスライダーをタップしてドラッ グします。データダイヤルまたは - / +ボタンも使用できます。よ り細かく調整するには、パッドをダブルタップして拡大したスラ イダーを使用します。

ヒント:ノブをスクリーンモードに設定すると、対応するパラメ ータを簡単に調整できます。

別のページのパラメーターを選択するには、画面下部のタブをタ ップします。

エフェクトを有効/無効にするには、右上にある On/Off をタップ します。

同じパッド、トラックなでで使っている他のインサート・エフェ クトのパラメーターを編集するには、画面上部の Insert - / +ボタ







ンをタップします。画面を閉じるには、Closeまたは画面上部をタ ップします。 パッド

パッドミキサーまたはトラック編集モードで、各パッドに最大4つのインサートエフェクトを読み込むことができます。

注:パッドインサート・エフェクトを使用すると、エフェクトは選択したパッドにのみ適用されます。これによりキット内の特定のパッドにだけにエフェクトをかけることができます。すべてのパッドに同じエフェクトを適用する場合は、 トラックインサート・エフェクトを使用します(インサート・エフェクト > トラックを参照)

@ 1 A01	© 2 A02	© 3 A03	■ 4 A04	© 5 A05	© 6 A06	© 7 A07	■ 8 A08
M S	M S	M S	M S	M S	M S	M S	
LP Filter	Reverb			LP Filter	Reverb		
+							
+							
+							
Track	Track	Track	Track	Track	Track	Track	Track
VOLUME	PAN &	VOLUME	SENDS	INSERTS & I/	D	Ę	I SETTINGS

パッドミキサーにパッドインサート・エフェクトを読み込むには:

1.画面下部の[Inserts & I/O]タブをタップします。

2.目的のパッドを押して選択するか、画面上でタップします。左にスワイプしてパッドのバンクをスクロールします。3.インサート・スロットをタップし、エフェクト画面を開いて、エフェクトを読み込み/編集します。

tra Dr	ar um Kit	*	÷	[?]	pad AO2				
INSE	RTS							ALL ON	
1	AIR Compres	ssor [2 in 2 out]				/	Î	ON	
2	Distortion A	mp [2 in 2 out]				/	Î	ON	0 SEND 3
3 ×									0
4	NO EFFECT								SEND 4
N	MASTER	SAMPLES	PAN	VELOCITY	FIL	TER/ENV	LFO MO	ODULATION	EFFECTS

トラック編集モードでパッドインサート・エフェクトを読み込むには:

1. トラックを使用しているときに、目的のパッドを押して選択します。

2. 右下にある Effects タブをタップし、エフェクトを読み込み/編集します。

パッド・ミキサーまたはトラック編集モードで、各キーグループに最大 4 つのインサートエフェクトを読み込むことができます。

重要:キーグループ・インサート・エフェクトを使用する場合、それらはそのキーグループにのみ適用されます。ノートの範囲が重なっている複数のキーグループにインサート・エフェクトを読み込む場合はこの点に留意してください。 エフェクトもその範囲でオーバーラップします。

1 Keygroup 1	2 Keygroup 2	3 Keygroup 3	4 Keygroup 4	5 Keygroup 5	6 Keygroup 6	7 Keygroup 7	8 Keygroup 8
M S	M S	M S	MS	M S	M S	M S	M S
+			Enhancer		Enhancer		
+							
+							
+							
Track							
VOLUME	PAN &	VOLUME	SENDS	INSERTS & I/	'0	r	

パッドミキサーにキーグループ・インサート・エフェクトを読み込むには:

1.画面下部の[Inserts & I/O]タブをタップします。

2.インサート・スロットをタップしてエフェクト画面を開き、エフェクトを読み込み編集します。

TR/	ack assic Bass				NUMBE				
INSE	RTS							ALL ON	SEND 1
1	Chorus 2-voice	[2 in 2 out]				/	Î	ON	56 SEND 2
2 ×									24 SEND 3
3	NO EFFECT								0
4	NO EFFECT								SEND 4
	MASTER	SAMPLES	PAN VE	ELOCITY	FILTE	R/ENV	LFO MOD	ULATION	EFFECTS

トラック編集モードでキーグループ・インサート・エフェクトを読み込むには、画面の下部にある Effects タブをタップ し、エフェクトを読み込み/編集します。

重要:エフェクトはそのキーグループにのみ適用されます。

トラック

ミキサーまたは XYFX モードで、各トラックに最大4つのインサート・エフェクトを読み込むことが出来ます。

注:XYFX モードでは、エフェクトはそのトラックのシングル・インサート・エフェクトのように機能します。XYFX は、 このモードを使用する前にトラックに読み込むインサート・エフェクトの名前です。

►1 Kick Loop B	# 2 Top Loop A	7e 8	₩4 Hat Loop A	€ 5 Hype Chords	W 6 Classic Bass B	≯7 SFX A	#8 Drum Kit B	÷	
M S								INSERTS	ALL
~ ·	· ·	~ ·	·~ •	e** •	~ •	~ •	~ ·		
Input 1,2		Input 1,2	Input 1,2			Input 1,2		Reverb Small [2 in 2 out]	ON
*									
+	Maximizer			Delay	Ensemble	east" Delay	Anter Maximizer	2 NO EFFECT	
+									
+								3 NO EFFECT	
+									
Out 1,2	Out 1,2	Out 1,2	Out 1,2	Out 1,2	Out 1,2	Out 1,2	Out 1,2	4 NO EFFECT	
A B									
VOLUME	PAN & V	VOLUME	SENDS	INSERTS & I	//0		SETTINGS	CLOSE	

ミキサーにトラック・インサート・エフェクトを読み込むには:

1.画面下部の[Inserts & I/O]タブをタップします。

2.インサート・スロットをタップしてエフェクト画面を開き、エフェクトを読み込み/編集します。



XYFX モードでトラックの XYFX を読み込むには:

- 1. 別のモードでトラックを選択してから、XYFX モードに入ります。
- 2. そのトラックでまだ XYFX モードを使用していない場合は、画面上で Insert XYFX をタップして読み込み、XY パッドを表示させます。

参考:既に4つのインサート・エフェクトが読み込まれている場合は、この操作の前にインサート・エフェクト・スロットの1つを削除する必要があります。

- 3. 左上の XYFX Location をタップして、Track を選択します。
- 4. Setup パネルが表示されていない場合は、右下にある Setup をタップして表示させます。

5. Preset フィールドを使ってエフェクトを読み込みます。プリセット・フィールドの下にあるコントロールを使用して エフェクトを編集します。 ミキサーを使って、各マスター出力に最大 4 つのインサート・エフェクトを読み込むことができます(ステレオペアの チャンネル: 出力 1/2 または出力 3/4)。

1 Return 1	2 Return 2	3 Return 3	4 Return 4	1 Outputs 1/2	2 Outputs 3/4	3 Outputs 5/6	4 Outputs 7/8
M	Μ	М	M	M	м	м	м
aur Delay	HP Filter	air Flanger		XYFX			
Non-Lin Reverb		Phaser		KIII EQ			
+		Aut- Multi-Chorus		LP Filter			
+				Maximizer			
Out 1,2	Out 1,2	Out 1,2	Out 1,2				
VOLUME	PAN &	VOLUME	SENDS	INSERTS & I	/0		SETTINGS

ミキサーにマスターインサート・エフェクトを読み込むには:

1. Master ボタンを押して、ミキサーにリターンとマスター出力を表示します。

2.画面下部の[Inserts & I/O]タブをタップします。

3.インサート・スロットをタップしてエフェクト画面を開き、エフェクトを読み込み/編集します。

センド/リターン・エフェクト

センド/リターン・エフェクトは次のように機能します。

- パッドまたはドラム、キーグループ、プラグイン、オーディオトラックは指定したセンドレベルでオーディオをリ ターンに送ります。
- 2. その音声はリターンに対するエフェクトによって処理されます。各リターンは最大4つのインサート・エフェクトを 読み込めます。
- 3. 処理されたオーディオは一対のマスター出力(ステレオ)または単一のマスター出力(モノ)に送られます。

後述するように、トラック・ミキサーでのみセンド/リターン・エフェクトを読み込んでリターンレベルを設定できます。 このセクションの残りの部分では、パッドまたはトラックに適切なセンドレベルを設定するさまざまな方法について説 明します。

1 Return 1	2 Return 2	3 Return 3	4 Return 4	1 Outputs 1/2	2 Outputs 3/4	3 Outputs 5/6	4 Outputs 7/8
м	м	м	м		м	м	м
Delay	HP Filter	Flanger		XYFX			
Non-Lin Reverb		Phaser		Kill EQ			
+		Multi-Chorus		LP Filter			
+				Maximizer			
Out 1,2	Out 1,2	Out 1,2	Out 1,2				
VOLUME	PAN &	VOLUME	SENDS	INSERTS & I/	0		SETTINGS

リターンにセンド/リターン・エフェクトを読み込むには:

1.ミキサーで、ハードウェアのマスターボタンを押して Returns と Master を表示します。

2.画面下部の[Inserts & I/O]タブをタップします。

3.インサート・スロットをタップしてエフェクト画面を開き、エフェクトを読み込み/編集します。

1 Return 1	2 Return 2	3 Return 3	4 Return 4	1 Outputs 1/2	2 Outputs 3/4	3 Outputs 5/6	4 Outputs 7/8
м	м	м	M	м	м	м	м
••							
•a							
o	۰	0	•	• <u> </u>	•	•	•
-1							
-9							
-20							
-30							
-2.74dB 0.00dB	-9.97dB 0.00dB						
VOLUME	PAN &	VOLUME	SENDS	INSERTS & I	0		SETTINGS

リターン・レベルを設定するには:

1. ミキサーで、ハードウェアのマスター・ボタンを押して Returns と Master を表示します。

2. 左下の Volume または Volume & Pan タブをタップします。

3. タッチスクリーンで、目的のリターンに対応するトラックをタップします。

4. 選択しているリターンのレベルを調節するには、データダイアルまたは - / +ボタンを使います。 チャンネル・ストリ ップのレベルスライダーも使用できます。より細かく調整するには、画面上のトラックをダブルタップしてスライダー を拡大します。

パッド

トラック編集モードかパッドミキサー上でそれぞれのパッドに送るセンドレベルを設定できます。

TRA Dr	um Kit	*	₽	[॰]	PAD AO3		
INSE	RTS					ALL ON	SEND 1
1	NO EFFECT						51 SEND 2
2	NO EFFECT						87 SEND 3
3	NO EFFECT						o
4	NO EFFECT						SEND 4
	MASTER	SAMPLES	PAN	ELOCITY	FILTER/ENV	LFO MODULATION	EFFECTS

トラック編集モードでパッドに対するセンドレベルを設定するには:

1. トラック編集モードで目的のクリップを編集しているときに、そのクリップローンチパッドを押して選択します。

- 2. 右下にある Effects タブをタップします。
- 3. Send ノブを使って各々のリターンに送るセンドレベルを設定します。



パッドミキサーでセンドレベルを設定するには:

- 1. 画面下の Sends タブをタップします。
- 2. 目的のパッドを実際に押して選択するか、スクリーン上でタップします。
- データダイヤルか-/+でセンドレベルを調整します。画面上のノブをダブルタップして表示される大きいノブで微調 整が可能になります。

キーグループ

トラック編集モードかパッドミキサー上でそれぞれのキーグループに送るセンドレベルを設定できます。

TRA Cl	assic Bass	~	ш	KEYGROUP	NUMBER OF KG		
INSE	RTS					ALL ON	SEND 1
1	NO EFFECT						37 SEND 2
2	NO EFFECT						55 SEND 3
3	NO EFFECT						0
4	NO EFFECT						SEND 4
	MASTER	SAMPLES	PANV	ELOCITY	FILTER/ENV	LFO MODULATION	EFFECTS

トラック編集モードでキーグループに対するセンドレベルを設定するには:

- 1. 目的のトラックを使用しているときに、パッドでそのキーグループを選択します。または画面上部にある Keygroup フィールドも使用できます。
- 2. 右下にある Effects タブをタップします。
- 3. Send ノブを使って各々のリターンに返すセンドレベルを設定します。



パッドミキサーでキーグループに対するセンドレベルを設定するには:

- 1. 画面下の Sends ボタンをタップします。
- 2. 目的のパッドを実際に押して対応するキーグループを選択するか、スクリーン上でタップします。
- データダイヤルか-/+でセンドレベルを調整します。画面上のノブをダブルタップして表示される大きいノブで微調 整が可能になります。

オーディオとプラグイントラック

オーディオとプラグイントラックに対するセンドレベルの調整はミキサーでのみ可能です。



オーディオおよびプラグイントラックに対するセンドレベルを設定するには

- 1. 画面下の Sends タブをタップします。
- 2. タッチスクリーン内の目的のトラックにあるセンドノブをタップします。
- 3. データダイヤルか-/+でセンドレベルを調整します。画面上のノブをダブルタップして表示される大きいノブで微調 整が可能になります。